

第 2 回愛知県国家戦略特別区域会議 愛知県提出資料

平成27年11月26日

愛知県知事 **大村 秀章**

愛知県の国家戦略特区において直ちに実施していく事業

■ 愛知県立愛知総合工科高等学校専攻科の民営化

今回認定申請

全国初！

＜愛知総合工科高等学校専攻科の使命＞

次世代自動車や航空宇宙などの産業現場のリーダーとなる知識等を有し、即戦力となる実践的で高度な技術・技能を習得した人材の育成を通じて、**本県の産業振興、ひいては国際競争力の強化に寄与**

＜総合工科高等学校のイメージ＞



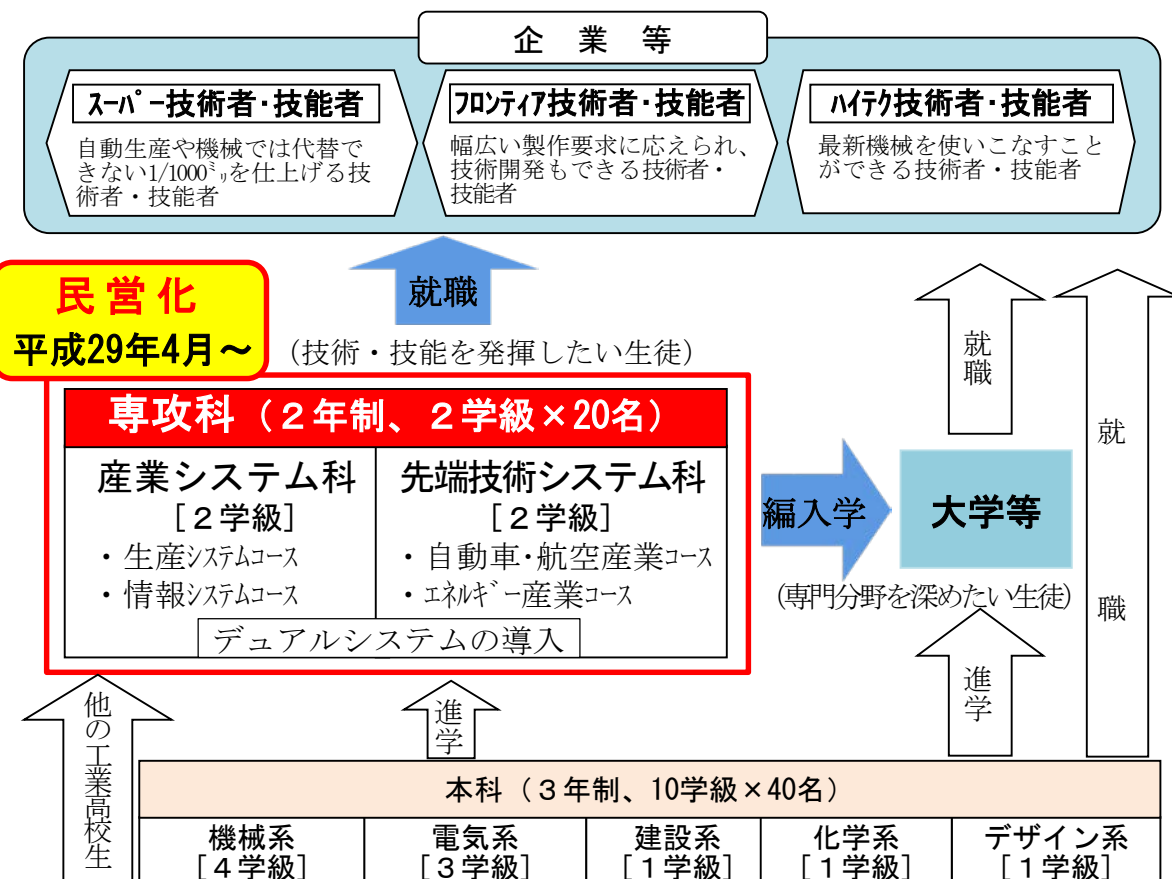
＜専攻科概要＞

所在地
愛知県名古屋市長久区星ヶ丘山手107
(地下鉄 星ヶ丘駅 下車徒歩4分)

開校時期
平成28年4月(予定)

募集定員
産業システム科 20名
先端技術システム科 20名

◎専攻科専用の施設・設備を整備



<民営化された専攻科の特長>

産業現場のリーダーに求められる力

技術・技能

- ◆次世代自動車産業や航空宇宙産業に代表される先端技術
- ◆伝統的に受け継がれてきた高い精度の“削る・磨く”技能

経営・生産管理に関する知識

- ◆生産工程に関する知識
- ◆経営に関する基礎的な知識
- ◆生産管理の知識
(自ら課題を発見し解決していく力)

国家戦略特区で実現！

通常の方法公務員制度では困難であった多様な雇用体系や柔軟な給与体系の設定が可能となり、**産業現場等で活躍する民間人材を積極的に登用できる**ようになる。

民営化

➤ **実践的な知識や経験を有する民間人材から生徒が直接指導を受けることで、産業現場のリーダーに求められる力を身に付けることが可能**となる。

- ・先端産業で活躍する人材による技術指導
- ・技能五輪メダリストや現代の名工など熟練の技を有する人材による技能伝承
- ・産業現場の第一線で管理的立場で活躍する人材による生産工程や経営の知識の教授
- ・企業内訓練施設などで人材育成する人材による生産管理に関する知識の教授 など

➤ また、**産業現場の知見をもった人材を登用することで、技術革新が頻繁な産業現場の動向・ニーズに具体的かつ迅速に対応した教育が可能**となる。

愛知県産業労働センター
～産業首都あいちの産業労働支援の拠点～



雇用労働相談センター
～雇用支援の専門機能～

雇用労働相談センター

- ・ 弁護士等による高度な専門性を要する相談対応
- ・ 「雇用指針」を活用
- ・ 多言語対応
- ・ 出張相談

(公財) あいち産業振興機構
～中小企業の総合支援窓口～

- ・ 創業プラザあいち
- ・ 国際ビジネス支援
- ・ よろず支援拠点

名古屋駅から
✓ 地下通路で直結
✓ 徒歩5分

ジェトロ名古屋貿易情報センター
～グローバルビジネス支援の専門機関～

- ・ 国際ビジネス支援
- ・ 対日投資支援

あいち労働総合支援フロア
～働くコトを幅広くサポート～

- ・ 労働相談
- ・ 就労支援

➡ グローバル企業やベンチャー企業を強力に支援！！

NPO法人の設立等認証手続きに係る申請書類の縦覧期間を短縮し、地域の様々な課題解決に取り組むNPO法人の設立を迅速化

◇実施主体 愛知県及び名古屋市

◇短縮期間 NPO設立等認証に係る縦覧期間

2か月 ⇒ **2週間**

認証手續期間（全体）

4か月以内 ⇒ **約2.5か月**

◇開始時期 平成28年1月（予定）

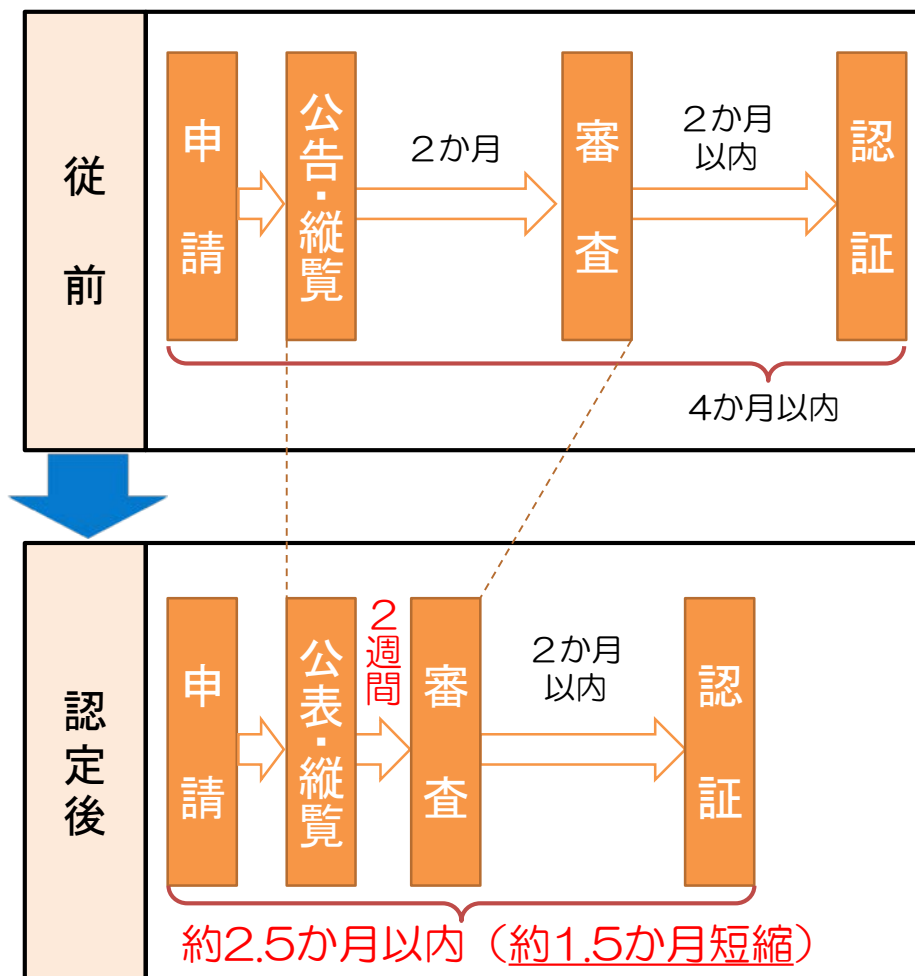
◇認証法人数（平成27年10月31日現在）

愛知県：1088法人（H26認証数：83法人）

名古屋市：822法人（H26認証数：62法人）



《設立認証手続き迅速化のイメージ》



愛知県が提案する、今後検討すべき規制改革事項

～多様な外国人の受け入れのための在留資格の見直し～

■ 国家戦略特区における産業人材の受け入れ

新規提案

現状と課題

○ 我が国は人口減少により将来的な労働力不足が懸念されている。

⇒産業の国際競争力を強化するため、真に必要な分野について外国からの“産業人材”の受け入れを検討する必要がある。



外国人の受け入れに関する動向

「日本再興戦略」改訂2015（H27.6.30閣議決定）《抜粋》

- ・優秀な外国人材の獲得競争が世界的に激化している中、我が国経済の更なる活性化を図り、競争力を高めていくためには、海外の優秀な人材の我が国への呼び込みが不可欠。
- ・経済・社会基盤の持続可能性を確保していくため、真に必要な分野に着目しつつ、中長期的な外国人材受入れの在り方について、総合的かつ具体的な検討を進める。

第5次出入国管理基本計画基本方針（H27.9 法務省）《抜粋》

- ・少子高齢化の進展を踏まえた外国人の受け入れについて、幅広い視点から政府全体で検討していく。



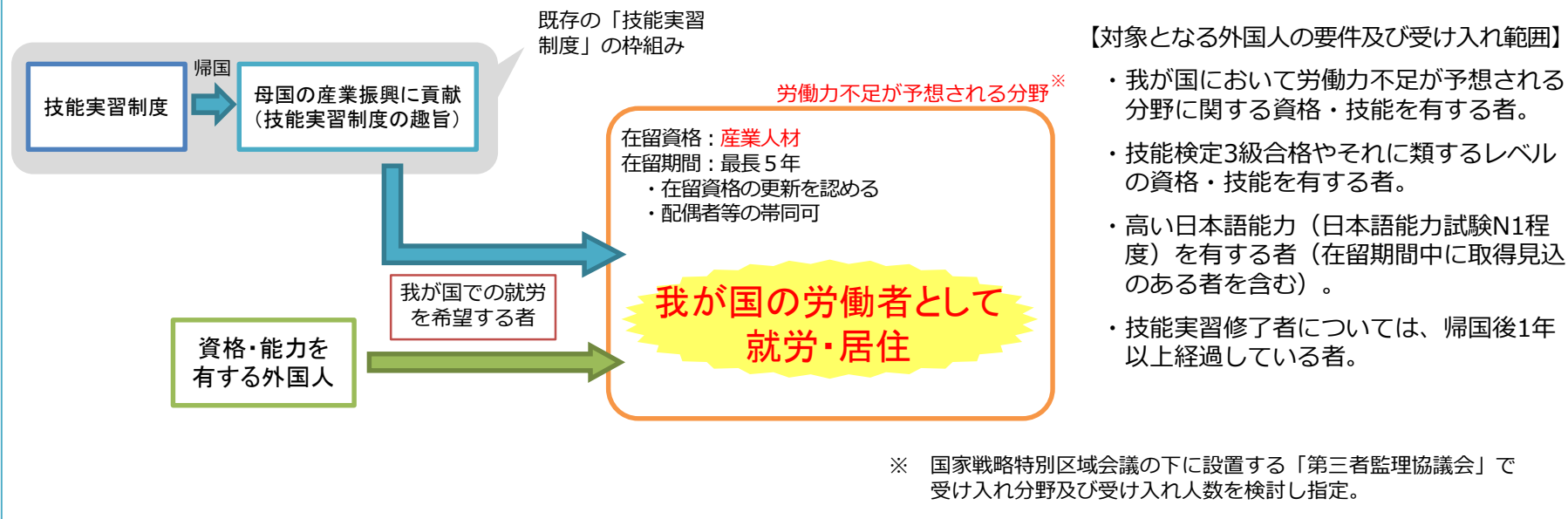
愛知県提案

資格・能力を有する外国人の新たな在留資格による受け入れ

⇒我が国の労働者として正式に雇用されることを希望する者に対し、新たな在留資格「産業人材」を認め、我が国での就労・居住を許可する。

（受け入れ分野、人数については国内労働者の雇用等に十分配慮した上で決定。）

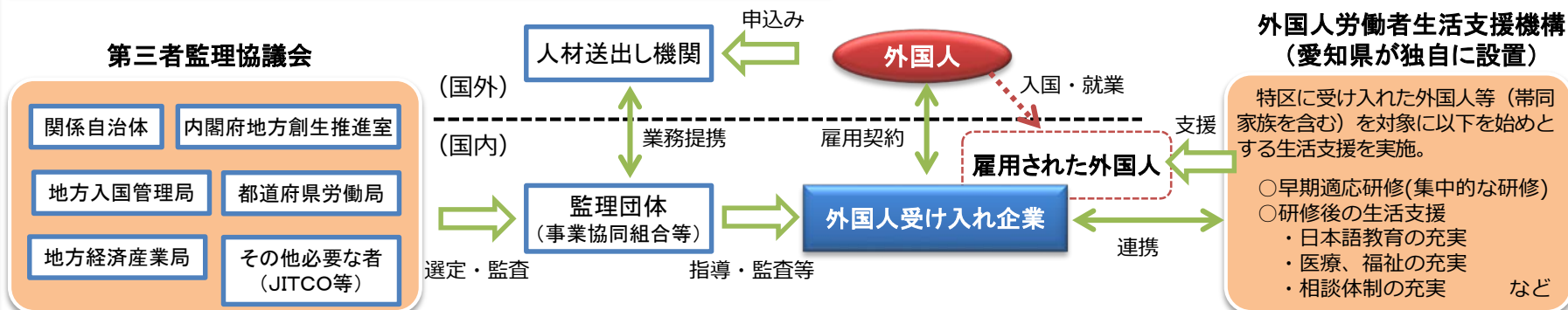
【愛知県提案】資格・能力を有する外国人の新たな在留資格による受け入れのイメージ



愛知県が提案する受け入れ体制

- 関係自治体等で組織する「**第三者監理協議会**」を設置し、本県提案に係る外国人の受け入れを監理。
- 愛知県が独自に「**外国人労働者生活支援機構**（仮称）」を設置し、受け入れ外国人に対する支援を実施。

国家戦略特区外国人雇用監理及び生活支援体制（案）



愛知県の国家戦略特区において早期に実施を目指す事業

■ 保険外併用療養に関する特例

今後認定申請

今後、先進医療会議に対象医療機関の選定に係る申請を行う予定



名古屋市立大学病院

- 地域の中核医療機関
 - ・ 高度かつ安全で開かれた医療の提供
 - ・ 質の高い医療人の育成
- 名古屋市東部・西部医療センターと連携、救急医療や周産期医療を充実
 - 市民が安心して暮らせるまちづくりに貢献
- 名古屋市立大学病院（808床）は、東部医療センター（498床）、西部医療センター（500床）とともに、約1,800床の病院群を形成
 - 幅広い一般診療のほか、先進医療、臨床研究を推進する体制づくりを推進

（既に計画認定を受けた医療機関）

厚生労働省の特別事前相談を経て、保険外併用療養の早期開始を目指す。



名古屋大学医学部附属病院



国立病院機構名古屋医療センター

【提案】

- ・ 道路交通法 70条（安全運転の義務）関連
⇒実証実験において、運転者が乗車していない状態での走行を可とすること
- ・ 国際法（ジュネーブ条約）関連
⇒将来的な自動走行車両の実用化に向けて運転者の乗車に関する義務規定について関係諸法の改定・整備を国レベルで検討すること

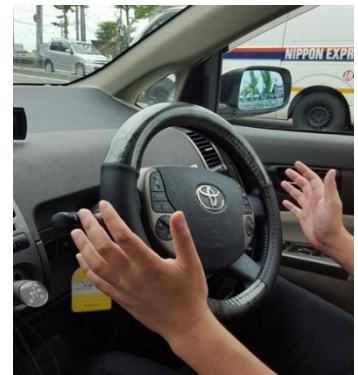
（参考）愛知県における取組

〔実施済み・実施中〕

- 大学・民間企業が、信号を自動判断して、アクセル、ブレーキ、ハンドルを自動制御する直進走行をバス優先レーンで実施
【一般公道の実証は全国初】
- バス優先レーンに接続する一般道からの左折を含めた自動走行
- 愛知県は、県警や道路管理者との調整をワンストップで実施、新あいち創造研究開発補助金による助成などにより支援

〔実施予定〕

- 3Dセンサーなどを用いた一層高度な実証を実施予定
 - ・ 来年3月までに、右折及びレーンチェンジの実験



○電波法関連

⇒各種周波数帯及び高出力の電波を使用できるよう電波法の改正が必要

- ・高出力電波（1W程度）の使用を認めること
- ・各種周波数帯電波や携帯電話ネットワークの使用を認めること
- ・技術基準適合証明・認証の簡略化を認めること

○航空法関連

⇒遠距離操作や高高度の飛行ができるよう改正航空法の円滑な運用が必要

- ・2015年9月の改正によって厳格化された遠距離操作（目視範囲以外）や高高度（150m以上）の飛行に関する規制について円滑な運用を行うこと

（参考）愛知県における取組

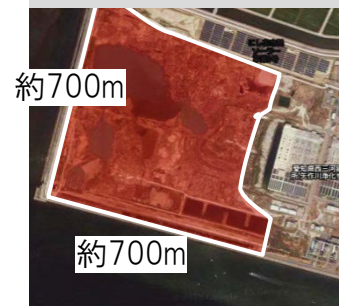
- 無人飛行ロボットの高性能化及び利用拡大を促進するため、県関連施設の敷地を実証フィールドとして提供
 - 愛・地球博記念公園（長久手市）…4月以降3社実施
 - 名古屋港南5区（知多市）…9月使用開始、8社実施
 - 矢作川浄化センター（西尾市）…11月使用開始、1社実施
- 新あいち創造研究開発補助金により企業の開発を支援
 - 無人飛行ロボット開発関連 2社採択
- 害獣捕獲の実証実験に向け、山村地域の役場等と調整中
- 火災消火活動の実証実験に向け、実証フィールド関係者と調整中



名古屋港南5区



矢作川浄化センター



○薬機法関連（治験の取扱い）

【提案】

⇒臨床研究データを治験データとして活用できるよう薬機法の改正が必要

- ・リハビリ支援ロボットの臨床研究データを、薬機法に基づく治験データとして活用できるようにすること

※リハビリテーション医療を遠隔診療の対象とする提案については、平成27年8月10日付け厚生労働省通知で措置済み

（参考）愛知県における取組

〔リハビリ遠隔医療実証実験〕

- 大学と企業が、リハビリ遠隔医療支援システムを開発中
- 今後、近隣団地と体制を構築し、遠隔医療実証を実施

〔リハビリ支援ロボット実証実験〕

- バランス・歩行訓練ロボット：開発企業が全国の医療機関へ提供し、臨床研究に活用してもらっている。
- 歩行支援ロボット：軽量コンパクト化等の開発中

◇ 国立長寿医療研究センター内に「あいちサービスロボット実用化支援センター」を設置し、企業の開発・実用化・普及を支援



リハビリ遠隔医療支援システム



バランス訓練ロボット



「あいちサービスロボット実用化支援センター」